

算数科学習指導案

授業日 令和7年 7月14日(月)

学習者 6年1組 29名

授業者 木村 彩華

1. 単元名 「形が同じで大きさがちがう図形を調べよう」

2. 単元の目標

拡大図や縮図の観察やかくことを通して拡大図、縮図の意味や性質について理解し、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりする力を養うとともに、拡大図や縮図という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。

単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・拡大図、縮図の意味や性質を理解し、対応する辺の長さや角の大きさを求めたり、拡大図、縮図をかいたりしている。	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、合同の意味や比の考えを基に、拡大図、縮図の意味や性質、作図の仕方について考え説明し、図形に対する見方を深めている。	・既習の図形をとらえ直したことや数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

3. 単元計画と学習評価（全8時間）

時	学習内容	学習評価（知・思・主）〈方法〉	個	全
1	・拡大図・縮図の意味や性質について理解する。 ・授業構想シートを使用し、学習計画を立てる。	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、合同の意味を基に、拡大図や縮図の意味や性質を考えようとしている。（主）	○	○
2 3 4	・授業構想シートを基に、学習班ごとに学習を進めていく。 ○拡大図、縮図の意味や性質について理解する。 ○拡大図、縮図の様々なかき方を考える。	・拡大図、縮図の意味を理解し、拡大図、縮図の性質を基に、拡大図や縮図を弁別したり、対応する辺の長さや角の大きさを求めたりすることができる。（知） ・拡大図、縮図のかき方を合同な図形のかき方を基にして考え、説明している。（思） ・1つの中心として、拡大図、縮図をかくことができる。（知） ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、1つの点を中心にした拡大図、縮図のかき方を考え、説明している。（思）	○	
5 (本時)	・おもな基本的な平面図形が拡大図、縮図の関係になっているかを調べる。	・拡大図、縮図という観点から、図形を分類整理したり性質を説明したりしている。（思）	○	○
6	・縮尺の意味について理解し、縮尺から実際の長さを求める。	・縮尺の意味を理解し、縮図から実際の長さを求めることができる。（知）	○	○
7	・縮図をかいて、実際の長さを求める。	・直接はかることのできない長さを、縮図をかいて求めることができる。（知） ・直接はかれない長さを求めるには、縮図を用いればよいことに気づき、用いようとしている。（主）	○	○
8	・学習のゴールに向かって、学習のまとめをする。 ・授業構想シートを使って、学習の振り返りをする。	・数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。（思）	○	

4. 本時でめざす子どもの姿

拡大図、縮図という観点から、図形を分類整理したり性質を説明したりしている。

【思】〈ノート・発言・交流〉

5. 仮説との関連

①「学びのデザイン」をし、自己評価をすることで、主体的に学習しようとするための工夫（仮説1）

- ・授業構想シートを使って単元のゴールと評価を共有することで、どのような「学びのデザイン」をすべきか見通しをもてるようにする。
- ・単元のゴールに向かうための学習方法を班ごとに考えることで、学習に必要感をもって取り組むことができ、主体的に学習に取り組めるようにする。

②他者との関わり合いをもつことで、より「深い学び」を探求しようとするための手立て（仮説2）

- ・4時間目までの学習内容を5時間目に生かした学習内容を全体で確認することで、新たな考え方や、よりよい方法を見つけ出せるようにする。

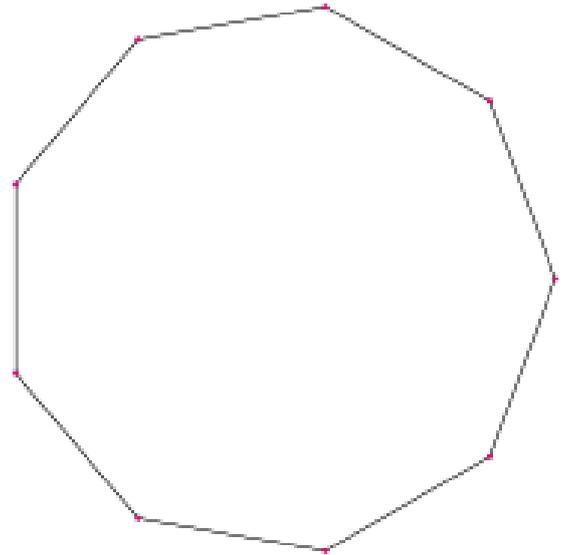
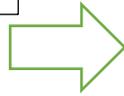
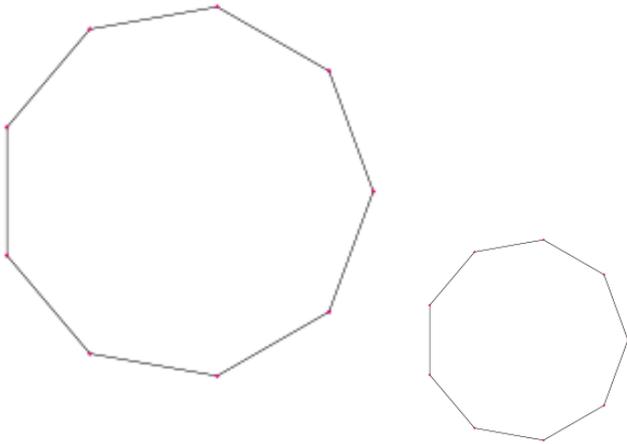
6. 本時の学習展開（5/8）

	児童の学習活動	評価□ 留意点※
導入 8分	<p>○前時までの学習の確認をする。</p> <p>○問題をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>これまでに学習したそれぞれの図形について、必ず拡大図、縮図の関係になっているか調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形、正方形、平行四辺形は必ず、拡大図、縮図の関係になっているかを考える。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>④必ず、拡大図、縮図の関係になっている図形はどのような図形なのだろうか。</p> </div>	<p>※テレビでいろいろな大きさのキャラクターを写しながら、拡大図、縮図の性質について振り返ることができるようにする。</p> <p>※左記の3つの図形で、課題の「必ず」の意味をおさえる。</p>
展開 30分	<p>○個人思考（班で）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形、ひし形は、必ず、拡大図、縮図の関係になっているかを考える。 <p>○全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形、ひし形は、対応する辺の長さの比や角の大きさに着目すると必ず拡大図、縮図の関係にはなっていないことを確かめる。 <p>○個人思考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正三角形、正五角形、正六角形は必ず拡大図、縮図の関係になっているかを考える。 <p>○全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての図形の結果から、気付いたことを確認する。 	<p>※必ず拡大図、縮図になるきまりにすぐに気付かないようにするため、図形を小出しにして考えさせる。</p> <p>※拡大図、縮図の関係を調べるには、対応する辺の長さの比や対応する角の大きさに着目することに気付くことができるようにする。</p> <p>※早くできた班はチャレンジ問題に取り組む。</p> <p>□拡大図、縮図という観点から、図形を分類整理したり性質を説明したりしている。</p> <p>（思）〈ノート・交流〉</p>
終末 7分	<p>○学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑤必ず、拡大図、縮図の関係になっている図形は、正多角形。正多角形は、対応する辺の比が等しく、対応する角の大きさが等しいから。</p> </div>	<p>※子どもたちの気づきからまとめられるようにする。</p>

スペシャルミッション★
正〇角形で調べてみよう！

これらの図形は・・・

角形



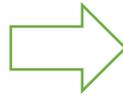
スペシャルミッション★
〇角形で調べてみよう！

私たちがかく図形は・・・

角形

いろいろな〇角形を書いて、調べよう！

角形 は、必ず拡大図、縮図の
関係に（ ）。
なぜなら、

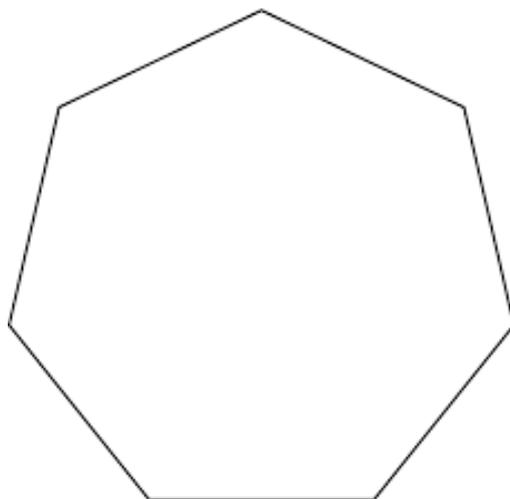
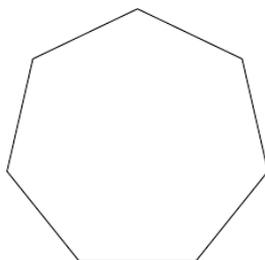
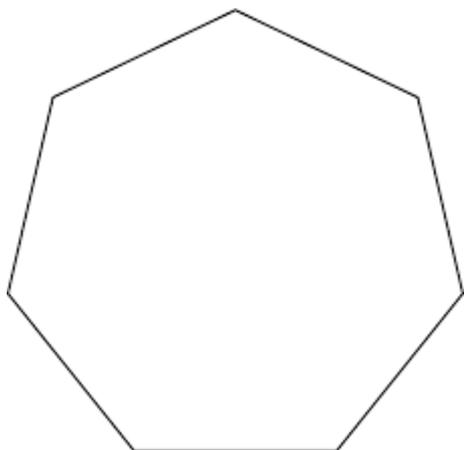


スペシャルミッション★
正〇角形で調べてみよう！

これらの図形は・・・

角形

角形 は、必ず拡大図、縮図の
関係に（ ）。
なぜなら、



スペシャルミッション★
正〇角形で調べてみよう！

これらの図形は・・・

角形

角形 は、必ず拡大図、縮図の
関係に（ ）。
なぜなら、

